

## 議事録

### 会議名：第19回中四国学生剣道連盟理事会

- 日 時：2005年5月14日PM2時00分より
- 場 所：高松市総合体育館 第1競技場 第7会議室
- 構成員：35名
- 参加者：産賀敏彦、湯村正仁、木谷直俊、渡辺道徳、橋本健蔵、小倉 肇、三浦利雅、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、山神眞一、石井博貞、境 英俊、香川直己、森山慎一、緒方香織、西野剣樹、佐々木 史、白川哲生、作下隆明、川筋雄作、佐々木梨華、山下真季、竹澤竜平、香川尚美、松永俊大、正宗良朗（以下委任状により出席と見做す）高澤貞三、大元輝民、竹内善一、高橋経範、松村英和 以上32名、欠席者：川尻雄洋、中川駿一郎 以上2名  
オブザーバーとして、腰山静雄、村井慎治

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。  
慣例に倣い会長の産賀敏彦を議長として議事が進められた。

#### ● 記 録

氏名：川筋雄作

E-mail：information@tyushi.com（不明点はこちらへ）

### Summary：

- 議題1：第18回理事会議事録確認
- 議題2：平成16年度決算報告及び平成17年度予算案
- 議題3：幹事会報告（連盟加盟報告）
- 議題4：全日本理事会・常任理事会報告
- 議題5：リーゼミ報告、次回リーゼミ企画案
- 議題6：剣友会（中四学連剣友剣道大会）の報告
- 議題7：大会記録等について
- 議題8：剣友会（全日学連剣友剣道大会）の報告
- 議題9：その他

## 議事

### 1. 第18回理事会議事録確認

第18回理事会議事録を一部修正して異議なく承認した。

### 2. 平成16年度決算報告並びに平成17年度予算案について

報告者：石井博貞

- (1) リーゼミを一つの事業として決算を計上した。
- (2) 決算書雑収入について  
241名分の全日登録費が雑収入に計上されているが、全日決算に間に合わなかったため、本年度分に上乘せして全日本連盟に収めることとする。  
(注釈が必要と思われる場合は欄外にその内容を記入する)
- (3) 次回から予算書は8月の理事会に決算書は12月の理事会に提出する。
- (4) 決算及び予算案（一部誤字の訂正）が承認された。

### 3. 幹事会報告

報告者：森山慎一

- (1) 選手権の抽選を行った。
- (2) 全日本の理事会をうけて学生の方で意思疎通を図ることと、学生幹事は大学の代表であるということを意識もって欲しいと伝えた。
- (3) 順正短期大学の再加盟を承認した。

### 4. 全日理事会・常任理事会報告

報告者：森山慎一

- (1) 平成16年度決算及び監査報告  
全日本の会計担当者より五十周年記念誌の収支報告が行われた。中四国学生剣道連盟では各大学2冊ずつ、40大学で計80冊を購入した。
- (2) 平成17年度予算案について説明があり、承認された。
- (3) 総務委員会では「守ろう行儀作法と礼節」という趣旨の資料が提示された。内容は全日本大会をうけて見苦しいとされる行為を禁止するというものが多く、「行儀作法と礼節」の改善について話し合った。その中で試合直前の試合場近くの円陣行為を禁ずるということに関しては、どこまでが許されるかが曖昧であるため確定ではなくこれから審議していく。
- (4) 審判委員会  
全日本学生剣道連盟審判員名簿を作成する。  
審判員の選考に関しては審判長、副審判長、審判委員長、主管連盟から選出された審判委員（地域連盟審判委員を含む）で決定する。

全日本大会の審判員決定については地域連盟による推薦からトップダウン（全日）で行われる事になった。

本連盟からは20数名（八段、七段&女子六段を中心に）を登録。

地域連盟の審判員レベルアップを図るため地方での審判講習会開催を将来的に出来るようにすることが検討されている。

(5) 全日選手権大会について

正しい剣道の普及を目指した大会について、選手権大会の規模縮小若しくは2日開催で検討。本連盟としては現状維持の方向で意見を出していく。

(6) 全日本オープン大会について開催場所が変更になった旨が報告された。

## 5. 平成16年度リーダーゼミナールの報告

報告者：榊 康守、香川直己

(1) 平成16年度リーダーゼミナールは3月12日～3月14日に福山みろくの里で行われた。計85名の参加があり講師として河田清実先輩をお呼びして、非常に充実したものであった。

(2) 今後の課題

体育館の老朽化が指摘されていたので、今後は場所選びの際の下調べを注意して行うようにする。

参加費が高いという意見があったので参加費は大学で用意し、自費で参加する学生を減らすよう幹事会で説明する（参加しやすい環境づくりをする）。

## 6. 平成17年度の審判長について

報告者：石井博貞

(1) 優勝大会は田中早苗先輩、新人戦は青木 寛先輩が推薦され、これを承認した。

(2) 優勝大会当日に岡山県内の大会が4つあるため岡山で審判員が確保できなかった場合、香川・広島で補充する。

## 7. 大会記録について

報告者：境 英俊

(1) これまでの大会記録（過去10年）をホームページ上で閲覧できるようにする。

(2) 今後の試合記録について

大会時に各試合場で記録データをパソコンに入力して、大会本部のパソコンを通じて速報形式でホームページに記載していくことを検討している。

8月の優勝大会で1試合場を使って試験運用する（専任担当：竹内善一）。

## 8. 剣友会の報告

報告者：村井慎治

(1) 3月27日に第2回全日本学連剣友剣道大会が行われた。

中四国代表は女子の部で筑波大学が優勝、日本体育大学が三位、他にも2チームがベスト8に入るという成績を収めた。

- (2) 平成17年度の中四学連剣友剣道大会は12月10日にOB稽古会、11日に大会の日程で愛媛県武道館にて行う。
- (3) 山神眞一先輩の八段昇段の祝いを前夜祭で行う。
- (4) 大会当日に女子の部の筑波大学と日本体育大学を改めて表彰する。
- (5) 昨年度は638名の登録があった（関東関西に次ぐ登録数となった）。
- (6) 会計報告  
次年度繰越金の一部をできるだけ学生の援助に充てる。

## 9. その他

- (1) 女子優勝大会の優勝旗の費用が26万円ぐらいになる見込み。
- (2) 審判員登録を各県で勧めて戴くことと、抹消登録について説明された。

以上の議事を終え、本会は午後15時06分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 17 年 5 月 14 日

中四国学生剣道連盟 第19回理事会

署 名 人 山 神 眞 一



署 名 人 川 筋 雄 作



## 次回 MTG

日 時：2005年8月27日

場 所：川崎医療福祉大学 講義棟3603教室

以上